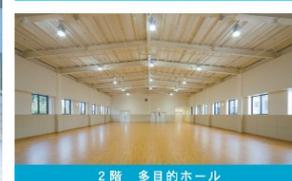




ステップ・アップ

36号

萩病院 急性期病棟 多目的ホール完成



医療法人水の木会萩病院の急性期病棟が平成28年2月にスタートいたしました。急性期病棟とは症状が発症したり再燃したりして間もない時期（急性期）の治療を専門的に行う病棟です。そのために病棟の構造は機能的な個室を多く配置し、医療スタッフは数の充実だけではなく優秀なスタッフを集めました。最近の精神科医療は医師を始め、資格を持った多くの職種の人々からなるチームで、多方面から取り組むことにより、入院期間の短縮を図り、早期の社会復帰を実現することが命題となっています。

このたびの急性期病棟立ち上げにより当法人の診療目標である急性期治療への取り組みと、処遇困難な患者さんへの対応が明確になります。また、断らない医療、連携を密にしたチーム医療、患者さんやご家族との関わりを大切にするといった当法人の基本姿勢が、より具体的になります。

急性期病棟では症状の軽減と安定を図り、入院治療を早期に終了することを目指します。また自立に向けた就労支援も行います。このような治療の流れを作ることで現在の治療の進行状況を患者さんやご家族に知っていただき、我々スタッフと情報を共有していただくことが出来ます。

年間の自殺者が3万人を超えるストレス社会であるからこそ、さらに親子関係を始めとする対人関係が円滑に進まない社会であるからこそ、精神科医療に求められるものが増えてきています。現実に我々の守備範囲は子供からお年寄りまで幅広いものになっています。

萩病院における急性期病棟は入院期間の短縮とあらゆる患者さんへの対応といった社会的ニーズに応えようとするものです。我々スタッフ一同一生懸命に取り組みますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

理事長 水木 泰



学術講演会

平成27年11月21日

「青年期・成人期の発達障害 診断と対応」

浜松医科大学 児童青年期精神医学講座 特任教授 杉山 登志郎 先生



個人的に興味を惹かれたのは、発達障害臨床でしばしば出会う親子の例についてでした。

子どもはASD+ADHD、被虐待の既往があり、著しい不適応行動が存在しているという事でしたが、その親も同様の問題を抱えている場合が多いようです。本人だけへのアプローチではなく、その環境となる親を含めた家族へのアプローチも重要なのだと改めて実感致しました。

また、発達障害と複雑性PTSDが併存している場合も多く、PTSDに対する手立てとして、EMDRの紹介もされていました。こちらについては今後、当法人においても提供していけるよう、研修等に参加し、精進していきたいと考えております。

(臨床心理士 富田 祐希)



管理棟1階 事務室を改修しました



この度、管理棟1階の事務室の拡張工事を行いました。これに伴い、従来2階で業務を行っていた医事課を1階に移し、事務部門の中核部署を同一フロアに集約しました。

これを行うことにより、医療情報を始め、病院・施設の経営、運営にかかわる様々な情報が事務室で集中管理、共有できることになり、患者さんを始め、来院者の方々へのより良い窓口対応・医療サービスの提供、病院・施設の経営・運営に必要とされる情報の収集・分析・提供が効率よく、迅速に行えるようになりました。

今後は更に、病院・施設経営を取り巻く社会情勢の変化に後れをとらない優れた情報の管理・処理能力を身に着けた事務部を目指し、事務部職員一丸となって努力していきたいと考えています。

(事務部 関 忠利)



奥行きが広がり、解放感ができました。



窓口からも空間の広がりが見てとれます。

第19回 下関病院・下関病院附属地域診療クリニック



ふれあいフェスティバル

を開催しました

平成27年11月7日

当日の天候にはあまり恵まれませんでしたが、今年度もふれあいフェスティバルを開催することが出来ました。

当日は会場の準備の段階から来客者が会場に訪れるなど地域の方々に関心を持っていただくことは出来ていたようです。毎年、恒例となっている出店からは、やはり寒空の中ということもあって、温かい食べ物がよく売れていたようです。他にも各職種による内覧会にも興味を持たれている方も多く見られていました。

また、今回の講演会は下関病院附属地域診療クリニックの中村尚史先生より、「思春期・青年期の発達障害について」講演をして頂きました。中村先生の講演に皆さん真剣に話を聴かれており、質疑応答の際は積極的に質問をされる方も居られました。

他にもステージ企画ではみそら保育園の園児の方々によるかわいらしい鼓笛隊も見ることが出来、来場した皆様からは思わず笑みがこぼれていました。

ふれあいフェスティバルは地域の皆様との交流の機会として大切な行事であります。今後も皆様方に楽しんでいただくことが出来るよう職員一同、研鑽してまいりますのでよろしくお願い致します。

最後に、ふれあいフェスティバルに携わって頂いたすべての方、地域の住民の方のご協力により無事、ふれあいフェスティバルを終えられましたことを重ねて御礼申し上げます。

(ふれあいフェスティバル実行委員長 中野 譲治)



参加者からの質問に答える中村Dr.



演技のすばらしい完成度におどろき！



雑誌や広告の切り抜きを台紙に貼って作品を作る【コラージュ療法】の体験コーナー



【作業療法体験】コーナーでは、子供さんが射的をたのしんでいました。



屋外のバザーでは、ラーメンのテントに長い行列が。



精神保健福祉士による相談コーナーもたくさんの方にご利用いただきました。



行事報告

12月25日(金)下関病院4階ホールにてクリスマス会が開催されました。今回は例年とは少しスタイルを変え、各病棟の出し物として合唱以外にもダンスやカラオケを行い、各病棟のそれぞれの特徴が出て大いに盛り上がりました。また昨年に引き続き、託児所の子ども達によるお遊戯も披露され、見ている患者さんやスタッフからも「可愛い〜!」との歓声が挙がっていました。今後も季節行事の一環として、開催していきたいと思っています。

(作業療法士 川崎 里絵)



12月29日(火)下関病院中庭にて冬祭りが開催されました。今年は場所を変更し、患者さんが参加しやすく、病棟からも様子を見ることができる“中庭”で餅つき会を実施しました。寒い中での餅つきではありましたが、皆さんの元気な掛け声とともに餅つきが行われ、餅丸めも女性が中心となって手早く作業が進められていました。できたお餅は午後から各病棟でぜんざいとして振る舞われました。美味しいぜんざいを食べながら季節を感じる機会となったのではないのでしょうか。

(作業療法士 土谷 亜維)



スタッフでつなげる、趣味のはなし。連載第19回

つなげよう! スタッフのわ

今回は豊松苑の 西典子 さんです。

私の趣味は“パン作り”です。今ではホームベーカリーという画期的なものがありますが、私はストレス発散にもなるので手でこねて作ります!

出来立ての匂いがまた格別で、友達を家に呼んで一緒に作ったり、実家に帰る際にお土産として作って持って帰ったりしています。意外に簡単なのでみなさんも是非!!

家でできるストレス発散として、パン作りをしてみてもどうですか??



次回まで楽しみに待ってね!

次回は事務の 惣田 文子 さんです。

下関病院 広報委員会

山口県下関市富任町 6 丁目 18 番 18 号
TEL: 083-258-0338
FAX: 083-259-8876
ホームページ: <http://www.mizunoki.jp>

水の木会 検索

編集後記

1月24日、25日は40年ぶりの大寒波...凄かったですね。大変な思いをされた方も多かったのではないのでしょうか。まさか市内でチェーンを装着した車を見るときは、夢にも思いませんでした。まだまだ寒い日が続きます。インフルエンザや風邪の対策もしっかりとして、乗り越えていきましょう!



(広報委員 富田 祐希)